

**令和 8 年度福島県環境創造センター交流棟運営業務
提案仕様書**

1 業務名

令和 8 年度福島県環境創造センター交流棟運営業務（以下「本業務」という。）

2 目的

本仕様書は、福島県（以下「発注者」という。）が、委託先事業者（以下「受注者」という。）に委託する本業務を円滑かつ効果的に行うために必要な事項を記載したものであり、受注者は本仕様書に従い本業務を遂行するものとする。

3 履行場所

福島県環境創造センター交流棟（以下「交流棟」という。）
福島県田村郡三春町深作 10 番 2 号

4 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

5 交流棟施設概要

交流棟の施設概要は次のとおり。

(1) 構造

鉄筋コンクリート

(2) 建築面積

2,927 m²

(3) 延床面積

4,632 m²

(4) 竣工年月

2016 年 3 月

(5) 駐車場

大型車：8 台、普通車：122 台、障害者等用駐車スペース：2 台

(6) 主要施設内容

【1 階】

施設名	面積(m ²)	主たる用途・目的等
会議室	196	・各種学会や会議、イベント開催スペース、学校等団体の昼食会場として利用可能。 ・収容人数：約 100 名。 ・外部来館者の使用が可能。
展示室	881	・放射線等について学ぶ体験型の展示を設置。
多目的ラウンジ	54	・来館者の休憩スペースとして利用。 ・体験研修プログラムの実施スペースや企画展示スペースとして利用。
ボランティア室	24	・運営ボランティア・サポーターの活動スペース。
運営事業室	28	・体験研修プログラム実施にあたっての準備作業等を行うスペース。
事務室 1	63	・受注者の執務室及び救護の 1 次対応スペースとして利用。
事務室 2	37	
売店	16	・軽食やお土産品等を販売。

※ 売店運営については、発注者が別途委託する事業者が行うため、本業務の対象外である。

【1～2階】

施設名	面積(m ²)	主たる用途・目的等
ホール	203	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学会や国際会議のメイン会場等として利用。 ・収容人数：約 200 名。 ・外部来館者の使用が可能。

【中2階】

施設名	面積(m ²)	主たる用途・目的等
環境創造シアター	210	<ul style="list-style-type: none"> ・360° 全方位に映し出される映像を体感できる全球型シアター。 ・収容人数：約 60 名。
展示室	150	<ul style="list-style-type: none"> ・環境創造シアターの出入口がある階層における展示スペース。

【2階】

施設名	面積(m ²)	主たる用途・目的等
学習室A 学習室B	186 92	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント、企画展等の開催スペースとして利用。 ・学校等団体利用時の荷物置き場、昼食スペースとして利用。 ・学習室Aの収容人数：約 100 名。 ・学習室Bの収容人数：約 60 名。
セミナー室A セミナー室B	33 38	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学会等での分科会会場や環境創造センター職員の会議室として利用。 ・学校等団体利用時の荷物置き場、昼食スペースとして利用。
展示室	24	<ul style="list-style-type: none"> ・研修準備室前に触れる地球を整備
和室	41	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流スペースとして活用。
キッズスペース	51	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の未就学児等が楽しめる屋内遊具を設置。
多目的会議室 研修準備室	171 66	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線や環境問題について学ぶための体験研修プログラムを実施。 ・多目的会議室の収容人数：約 70 名 ・多目的会議室は外部来館者の使用が可能。
特別室	25	<ul style="list-style-type: none"> ・講師などの控室等として利用。
ギャラリーロード	—	<ul style="list-style-type: none"> ・環境創造センターの取組やその成果の概要を伝えるグラフィックパネルを展示。
観察テラス	—	<ul style="list-style-type: none"> ・体験研修プログラム（例：太陽光発電キットによる実演）の実施スペースや来館者の休憩スペースとして利用可能。

(7) 開館時間等

午前 9 時 00 分から午後 5 時 00 分まで

※ 本業務に係る時間は午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分とする。

※ 臨時に開館時間を変更する場合がある。

(8) 休館日

毎週月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日にあたるときは、当該日の直後の休日でない日）及び年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日まで）

※ 臨時に休館又は開館する場合がある。

(9) 入館料等

交流棟への入館料及び駐車場の駐車料は無料とする。

6 業務執行体制等

- (1) 本業務の実施に際しては、業務責任者及びその代務者（以下「業務責任者等」という。）を定めること。
- (2) 業務責任者等は、類似施設における運營業務の従事経験もしくは交流棟における1年以上の運營業務の従事経験がある者とする。
- (3) 本業務は着手から完了にいたるまで、業務責任者等が現場管理を行うこと。
- (4) 科学全般に関する相当の専門的知識及び東京電力福島第一原子力発電所事故以降の福島県の状況、取組に関する相当の理解を有するスタッフ人員を適正に配置すること。
- (5) 英語による館内アテンドを必要とする来館者に対し、適切にコミュニケーションをとることが可能な技能を有するスタッフ人員を適切に配置すること。
- (6) 本業務を遂行するために必要なスタッフ人員を配置するにあたり、特に繁忙期間には、交流棟の来館者へのサービスに支障が生じることのないよう、適切な措置を講じること。
- (7) 本業務を適切に遂行するために必要なスタッフの能力確保のための養成研修を実施する体制を整備すること。
なお、養成研修の実施に当たっては、研修の方法及び内容について、事前に発注者と協議を行うとともに、その結果について報告すること。
- (8) 火元責任者を選任し、防火・防災に努めること。
- (9) 本業務の実施に際し、必要に応じて感染症対策や熱中症対策等を行うこと。
- (10) 発注者が実施する事業（企画展、アウトリーチ活動、出前講座等）に協力する体制を構築すること。

7 本業務内容

(1) 展示等運營業務

前本業務受託者が作成した福島県環境創造センター交流棟運営要領等に従い、次の業務を実施すること。なお、当該要領等は事前に発注者の承認を得た上で、実態に即した改訂を適宜行うこと。

ア 開館準備及び閉館に関する業務

開館前には、展示物・環境創造シアターの起動、のぼり等の設営（必要に応じて）、点検、簡易清掃、来館者の受入準備等を行うこと。また、閉館後には展示物・環境創造シアターの終了、各居室の施錠、のぼり等の撤収（必要に応じて）、翌日の受入準備等を行うこと。
積雪時は、エントランス前から車道までの歩行エリアについて安全確保のための雪かきを行うこと。

イ 団体来館受付業務

学校団体、一般団体等の来館の受付（発注者が受付した一般団体等を含む）に係る台帳（電子データを含む）を作成・管理して受付を行い、来館日時、見学コース、体験研修プログラム等の調整を行うこと。併せて、来館者に関するデータ（団体名、人数、学年等）を電子データに集約し、発注者へ毎日提出すること。また、電子データに実績を記載すること。

なお、発注者と協議の上、別途団体来館実績を作成し、発注者から指示があった際は確認を受けること。

ウ 総合案内対応

受付には常時スタッフを配置し、館内案内パンフレットの配布、来館者アンケートの配布・回収、来館者の問い合わせ等への対応、館内案内、館内アナウンス、車椅子貸出、キッズルーム・和室・自主勉強スペースの利用受付、一般来館者向け体験ワークショップの整理券配布、体調不良者の救護の1次対応等を行うこと。

エ 大型インフォメーションディスプレイの配信管理

多目的ラウンジに設置されている大型インフォメーションディスプレイを積極的に活用した館内案内やイベント・観光情報等の発信を行うとともに、配信管理を行うこと。

オ 展示室におけるアテンド業務

- (ア) 来館者への展示案内のために、制服を着用した案内スタッフを原則2名以上配置すること（団体案内スタッフを除く）。
- (イ) 団体見学者に対してアテンドし展示案内を行うこと。
- (ウ) 福島県環境創造センターの位置付けを踏まえ、来館者の要望に応じた解説や質問への客観的・科学的な対応、館内の秩序維持等を適切に行うこと。
- (エ) 危険行為、他来館者や案内スタッフへの妨害行為の監視及び対応など、館内の秩序維持を適切に行うこと。
- (オ) アテンドにおける展示案内については、その内容にスタッフ間での差異が生じないように教育訓練等を行うこと。

カ 環境創造シアターにおけるアテンド業務

環境創造シアターへの入退誘導、アナウンス、設備操作、安全管理等を行うこと。

キ 展示データ更新業務

発注者の指示に従い、「年表でたどるふくしまの歩み」、「未来創造インフォストリーム」、「探る！ふくしまの環境のいま（ジオラマ周辺のパネル）」、その他什器展示等展示内容のデータ更新を行うこと（データ更新対象展示物及び更新頻度は別紙1のとおり）。

また、常に展示内容に係る最新データ及び情報の収集を行い、データ更新が必要な場合は、発注者に協議すること。

ク 学習用教材の開発

交流棟展示や体験研修プログラムの内容と連結した学習用教材（学習ノート等）について、発注者と協議の上、開発・更新すること。

なお、現在貸し出しを行っている学習機材は、別紙2「貸出機材リスト」のとおりであり、学習用機材の整備は発注者が行う。

ケ 学校団体等向け体験研修プログラムの開発・運營業務

放射線、再生可能エネルギー及び自然環境に関する体験研修プログラムの開発または改良を行い、来館する学校団体等の要望に応じた体験研修プログラムを提供するとともに、実施にあたっては、参加者への解説・サポートを適切に行うこと。

なお、学校団体等向け体験研修プログラムを実施するために必要な実験器具、機材、消耗品等（以下「実験器具等」という。）については、発注者が整備するものとする。

コ 広報業務

- (ア) イベント情報等を記載した月刊チラシを毎月発行し、発注者が指示する施設等へ送付すること。大型連休や学校の長期休業中の来館促進を目的とし、5、6、7、11、12、2及び3月に発行する月刊チラシは、郡山市、須賀川市、田村市、三春町及び小野町の小学校全校児童へ配付すること。また、7(2)ウ(イ)に示す中規模イベントの周知チラシは、福島県内の全小学校全校児童へ配付すること。

なお、発注者の要望に応じて印刷または配布に必要なデータを提供すること。

- (イ) 日本語のほか多言語（英語、中国語（簡体・繁体）及び韓国語）に対応した館内案内パンフレット等を作成・印刷し、受付等に配備すること。また、必要に応じて修正を行うこと。
 - (ウ) ウェブサイトを活用した広報を実施すること。ウェブサイトは、受注者にて独自のドメインを取得し、サーバーの運用、管理、更新、コンテンツの作成（イベント紹介動画等制作）及び掲載を行うこと。また、発注者から更新の指示を受けた際は対応すること。
 - (エ) 各種 SNS を用いてイベント情報等の広報を実施すること。
- なお、掲載内容は事前に発注者へ確認をとること。

サ 諸室・学習用機材の貸出支援業務

- (ア) 発注者が実施する諸室・学習用機材の貸出を支援するため、台帳を作成及び管理すること。なお、利用可否に係る判断は発注者が行うものとする。
- (イ) 諸室の貸出に当たっては、使用者等への使用上の諸注意、使用方法等の案内を行うこと。
- (ウ) 学習用機材の貸出に当たっては、申込書の受付を行うこと。また、発注者の指示により貸出機材の準備を行うこと。

シ 運営基礎資料の収集・作成

- (ア) 情報発信に必要な基礎資料の収集、広報素材の作成等を行うこと。
- (イ) 発注者が予算編成に必要な基礎資料等の準備等を行うこと。

ス 迷子・拾得物・遺失物

- (ア) 迷子発生時、速やかに発注者に報告するとともに、搜索、保護、警察への通報等に関する協力を行い、適切に対応すること。
- (イ) 拾得物・遺失物の搜索等に関する協力を行い、適切に対応すること。

セ 混雑時の交通誘導

交流棟の混雑時においては、円滑な施設利用を妨げないように、来館者車両等の交通誘導、来館者の入退場整理等を行うこと。

ソ 地域活性化を考慮した運営

地元からのスタッフの雇用、地元の催事と連携したイベントの開催等、地域活性化を考慮した運営を行うこと。

(2) 普及啓発業務

ア 来館促進業務

交流棟への来館促進及びリピーター集客の効果が期待できるサービスについて提案し、発注者と協議の上、1つ以上実施すること。

イ 学校団体来館促進業務

県内学校の来館促進のため、発注者が実施する訪問活動を支援すること。
発注者と協議の上、訪問スケジュールを作成し、訪問先への連絡を行うこと。

ウ 自主イベント企画運営業務

交流棟への来館の動機づけとなり、福島県の復興への意識醸成を目的としたものや、放射線、環境などを中心とした科学的な内容を学べる要素を含めたイベントの開発、企画運営を行うこと。

なお、自主イベントの開催に必要な実験器具等については、受注者が整備する。

- (ア) 一般来館者向け体験ワークショップ（主に土日祝日、学校長期休業期間に開催）
- (イ) 上記体験ワークショップよりも深く学べる機会を来場者に提供するとともに、さらなる来館促進につなげる中規模イベント（年2回開催）
 - なお、令和8年度は開催予定日を下記のとおりとする。
 - ① 令和8年5月2日（土）から6日（水・振休）の間の連続した3日間以上
 - ② 令和8年9月19日（土）から23日（水・祝）の間の1日間
- (ウ) 小学生を対象に夏休みの課題である理科自由研究に関する相談会「夏休み小学生理科自由研究サポート」を6、7及び8月にそれぞれ1回の計3回開催すること。
- (エ) 周辺市町の幼稚園児等を対象に交流棟において植栽活動を行うイベント「コミュニティ福島 お花でお迎えプロジェクト」（以下「本プロジェクト」という。）を実施すること。業務内容は以下のとおり。
 - ・ 交流棟にて夏と秋の年2回開催すること。開催日については発注者と協議の上、決定すること。
 - ・ 参加者は1回あたり幼稚園児もしくは保育園児（4～6歳児）30名程度を想定すること。
 - ・ プランターに花苗を植える植栽活動を実施し、花を植栽したプランターを、交流棟の出入口周辺に70基以上設置すること。また、植栽後に参加者にとって思い出となるような簡単な工作活動等の体験学習を実施すること。
 - ・ 発注者と協議の上、本プロジェクトに参加する幼稚園、保育園等を選定し、日程を調整すること。また、選定した幼稚園、保育園等と密に連携をとること。
 - ・ 発注者と協議の上、参加者全員に贈呈する記念品を準備及び調達し、当日配布すること。
 - ・ 苗等植栽時に必要になる備品及び消耗品を準備すること。その際、苗は1つのプランターに3苗植えることとし、プランター70基分以上を準備すること。なお、プランター70基、ハンドスコップ30本及び軍手については、植栽活動の際に無償貸与する。

- ・ 参加する園児等を送迎するバス等を手配すること。
 - ・ 実施当日は会場の設営を行い、円滑に事業を進行するため、進行管理を行うこと。
また、園児の植栽支援を行うこと。
なお、業務実施に当たっては、園児が安全に植栽作業を実施できるよう、十分な数の人員を配置すること。
 - ・ 写真等で植栽の様子を記録すること。
なお、事後広報での写真等の使用可否について、関係者に確認しておくこと。
 - ・ SNS や HP 等で事後広報を行い、関係機関にも写真等を提供すること。
 - ・ 植栽後は交流棟出入口周辺に設置した花の管理（水やり、枯れた花やプランターの撤去等）を行うこと。
- (オ) その他、交流棟への来館の動機付けとして効果が見込めるイベントについて検討し、発注者と協議の上、1つ以上開催すること。
- エ 人材育成講座企画運営業務
- 福島県の環境の現状や放射線に関する情報を伝え、ふくしまの未来を創造する力を育むための人材育成講座に関する企画及び運営を行うこと。
- (ア) 県内の小・中学生を対象とした人材育成講座「コミュタンサイエンスアカデミア」（詳細については別紙3-1及び3-2のとおり）
- (イ) 一般向け公開講座（詳細については別紙4のとおり）
- (ウ) 県内の小学生における夏休み理科自由研究の成果に関する発表会「理科自由研究発表会 at コミュタン福島」（詳細については別紙5のとおり）
- (エ) 上記(ア)から(ウ)については下記の業務実施体制等を踏まえて業務を実施すること。また、下記に示した提出物を提出すること。
- (a) 業務実施体制等
- ・ 企画運営スケジュールの管理を適切に行うこと
 - ・ 発注者と随時打合せを重ね、無理のないスケジュールで進めることができるよう努めること。
- (b) 提出物
- ・ 業務実施報告書（任意様式）を業務終了後遅滞なく提出すること。
なお、(ア)の業務については、講座の開催日ごとに作成し、講座終了後 30 日以内に提出すること。
 - ・ 講座等の様子を記録した写真データ及び動画データを DVD で納品すること。
また、作成したポスター・チラシ等は、PDF 形式又は JPEG 形式データを DVD で納品するほか、完成品を複数納品すること。
 - ・ 7(2)エ(ア)～(ウ)で実施したアンケートの集計結果をデータにて提出すること。
- オ 運営ボランティア推進業務
- 交流棟の円滑な運営に向け、運営ボランティアを募集し、下記業務を行うこと。
- (ア) 運営ボランティアスタッフの募集及び登録管理（募集説明会を年2回開催）
- (イ) 運営ボランティアスタッフの研修
- (ウ) 運営ボランティアスタッフの活用（7(2)ウで企画運営する自主イベント等）
- (エ) 運営ボランティアスタッフの活動状況の広報
- カ アウトリーチ活動等支援業務
- 放射線に関する知識の普及、福島県の現状の発信、交流棟の周知等のため、発注者が実施するアウトリーチ活動等について、スタッフの派遣等により支援すること。令和7年度の実績は別紙6「令和7年度アウトリーチ活動等実績一覧」のとおりであり、令和8年度についても同程度の実施を見込んでいる。
- また、交流棟にイベント出展等の依頼があった場合には、発注者と協議の上、積極的に対応すること。なお、派遣するスタッフの旅費及び使用する材料費については、原則受注者が負担すること。
- キ 来館困難校向け出前講座検討等業務
- 交流棟での来館学習が困難な県内の小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）に対して出前講座を実施するため、必要な検討及び準備を行うとともに、

試行的に出前講座を実施すること。

(ア) 既に交流棟での来館学習をしている県内学校等の来館状況を踏まえ、対象校の要件を検討すること。

(イ) 出前講座で扱う内容は放射線教育に関するものとし、交流棟での展示や体験研修プログラムの内容と連結した実施マニュアルや学習用教材、利用ガイド、予約申込書、記録台帳等を作成すること。また、改善点等を反映するため、学校向け及び児童向けのアンケートを作成すること。

(ウ) 出前講座の対象は小学校高学年を基本とすること。

なお、1講座当たり1学年（複数クラス）での開催を想定すること。

(エ) (ア)で検討した要件に合致するよう、試行的に出前講座を実施する小学校を選定するとともに訪問スケジュールを検討し、発注者へ示すこと。

なお、各小学校及び所管する教育委員会等との調整は発注者が行うものとする。

(オ) 発注者が調整した小学校（3校程度）を対象として、試行的に出前講座を実施すること。

(カ) 発注者と協議の上、出張講座の本格実施に向けて必要となる経費について積算すること。

(3) 施設維持管理業務等

ア 施設の清潔保持

展示物、什器、環境創造シアター等（以下「展示物等」という。）について簡易な清掃を行い、展示物等を常に清潔な状態に保つこと。また、展示室内にて稼働させるロボット掃除機について日常的な点検を含め管理及び運用すること。詳細については、下記のとおりとする。

(ア) 清掃に必要な消耗品（紙ワイパー等）は発注者が整備する。

(イ) 日常清掃及び定期清掃に関しては、発注者が別途委託する事業者が実施する。

なお、令和7年度の日常清掃及び定期清掃は、館内の床清掃、机清掃（会議室、学習室A及びB、セミナー室A及びB、特別室、多目的会議室）、ごみ収集（玄関ホール、授乳室、和室、多目的会議室、会議室、学習室A及びB、セミナー室A及びB、特別室、ホールホワイエ）、給湯室の清掃、階段の手すり拭き等を月曜日から土曜日に、トイレ及び洗面所の清掃を5(8)に示す休館日を除いた交流棟開館日に実施しており、令和8年度も同程度を見込んでいる。

イ 展示物等の日常点検業務

(ア) 交流棟を適切に運営するため、展示物等について日常的に点検を行うものとする。

(イ) 展示物等について異常などを発見した場合には、速やかに発注者に報告するとともに、可能な限りの現場対応を行うこと。

ウ 備品等管理業務

(ア) 発注者所有備品の管理にあたり、発注者が整備する備品台帳に基づき、備品の維持管理を行うこと。

なお、「備品」とは、比較的長期の使用に堪える物品であって、その取得価格（取得価格が不明であるもの又は特殊な条件において取得したものにあっては、市場価格を基礎として評定した価格）がおおむね10万円以上のものをいう。

(イ) 受注者所有備品の管理にあたっては、(ア)の備品台帳とは別の台帳により、備品の維持管理を行うこと。

エ 保守点検・修繕

本業務に係る時間の範囲内において、発注者が実施する交流棟の施設及び設備の維持管理業務の実施に協力すること。

オ 省エネルギーの推進

施設の使用及び管理にあたっては、発注者が策定するエネルギー管理標準等に基づき、省エネルギーの推進に努めること。

(4) その他の業務

ア 業務実施計画書の作成・提出

発注者と協議の上、業務実施計画書を作成し、本業務の委託契約締結後14日以内に提出

すること。

イ 業務報告書等の作成・提出

(ア) 毎日の業務終了後に業務日報を作成し、速やかに発注者に提出すること。

(イ) (ア)の報告に基づき、発注者から業務の改善が必要と指示された場合は、発注者と協議の上、改善を図ること。

(ウ) 発注者に対して必要事項の報告、情報共有等を行うことを目的とする定例会を実施すること。

なお、発注者からの依頼があった場合は、随時報告が行える体制を整えること。

ウ 来館者理解度調査の実施

(ア) 来館者の意見や展示内容への理解度等を聴取し、アテンド業務や展示改修等の参考とするため、来館者アンケート等を常時実施すること。また、有効回答数の増加につながる工夫をすること。

なお、実施時期や項目、方法等に関しては、発注者と協議の上、決定すること。

(イ) アンケート結果等を取りまとめ、集計を行い、発注者へ報告するとともに、発注者と協議の上、それを踏まえた業務実施計画書、体験研修プログラム等の修正を行うこと。

エ 文書等の管理・保存

受注者が本業務の遂行にあたり作成又は取得した文書等は、福島県文書等管理規則（平成12年9月26日福島県規則第160号）に基づいて、適正に管理・保存すること。

また、履行期間終了時に、発注者の指示に従って引渡しを行うこと。

オ 引継ぎ業務

次期受注者が円滑かつ支障なく交流棟の業務を遂行できるよう、必要に応じて福島県環境創造センター交流棟運営要領等の改訂を行うとともに、次期受注者への引継ぎを行うこと。

カ 情報管理

(ア) 福島県情報公開条例（平成12年3月24日福島県条例第5号）を遵守し、本業務の遂行にあたり作成又は取得した文書等のうち、公開の必要な情報に関する開示請求に対して、発注者の指示を受けて適切に対応すること。

(イ) 福島県個人情報の保護に関する法律施行条例（令和4年福島県条例第69号）を遵守し、本業務の遂行にあたり知り得た来館者等の個人情報について、漏洩、滅失又は毀損の防止等、個人情報の適切な管理のために必要な措置等を講じること。

キ その他前各号に付随する業務

その他、前各号に付随する業務を行うものとする。

8 執務室、什器備品等の貸与

本業務の遂行に必要な諸室及び発注者が配備した机、椅子、什器・備品等については、原則として無償で貸与する。

9 著作権

(1) 本業務の実施に伴う著作権の権利は、原則、すべて発注者側に帰属するものとする。ただし、受託者が従来から権利を有していた受託者固有の知識、技術に関する権利等（以下「権利留保物」という。）については、受注者に留保するものとし、この場合、発注者は権利留保物についての当該権利を非独占的に使用できることとする。

(2) 印刷物等に使用される素材等について、他者の著作権その他権利が及ぶものを使用する際は、権利者より事前に許諾を得るものとする。

10 緊急時・非常時の対応

(1) 災害や事故等、緊急の事態に備え、発注者と協議の上、対応マニュアルを作成するとともに、業務従事者に訓練を徹底するものとする。また、緊急連絡体制表を、契約後直ちに、発注者に提出すること。

(2) 災害や事故等、緊急の事態が生じた場合には、速やかに警察・消防等の関係機関及び発注者に通報連絡するとともに、事態に適した対応を迅速かつ正確に行うこと。

11 提出書類

受注者は、次の各号に掲げる書類を提出すること。

- (1) 契約締結後に速やかに提出するもの
 - ア 業務着手届
 - イ 業務責任者通知書
 - ウ その他、発注者が業務の確認に必要と認める書類
- (2) 業務完了後に速やかに提出するもの
 - ア 完了届
 - イ 事業実施報告書
 - ウ その他、発注者が業務の確認に必要と認める書類

12 その他

本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた時は、双方協議の上、決定するものとする。ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と考えられるものについては、本業務に含まれるものとする。

展示更新対象展示物及び更新頻度

展示物		更新データ 公開頻度
インフォストリーム		
	放射能検査で基準値を超えた福島県産「野生山菜・きのこ」の割合	年1回
	福島県の空間線量マップ	年1回
	廃炉作業従事者数	月1回
	中間貯蔵施設へ除去土壌などの搬入	月1回
	仮置き場の原状回復の進捗率	月1回
	除染の取組	更新なし
	下水汚泥の放射能濃度	3カ月毎
	事故後4カ月間における外部被ばく実効線量が1mSv未満の割合	更新なし
	ALPS処理水の海洋放出	更新なし
	福島県の人口	月1回
	観光客入込数	年1回（8月）
	温室効果ガス排出量	年1回（12月頃）
	福島県の平均気温	年1回（12月頃）
	せせらぎスクール延べ参加者数	年1回（12月頃）
	1人1日当たりのごみ排出量	年1回（12月頃）
	一般廃棄物のリサイクル率	年1回（12月頃）
	県内エネルギー需要に占める再生可能エネルギー導入割合	年1回
	水質環境基準達成率	年1回（12月頃）
	大気環境基準達成率	年1回（12月頃）
	イノシシ年間捕獲頭数	年1回（12月頃）
	自然公園の利用者数	年1回（12月頃）
	猪苗代湖のCOD	年1回（12月頃）
	避難者数（環境回復エリア）	3カ月毎
	避難区域の推移ディスプレイ（環境回復エリア）	随時
探る！福島環境のいま		
	水力発電	年1回
	地熱発電	年1回
	自然公園の利用者数	年1回（12月頃）
	バイオマス発電	年1回
	風力発電	年1回
	里山	年1回（12月頃）
	太陽光発電	年1回
	小水力発電	年1回
	新エネルギー（水素）	年1回（12月頃）
	ごみ	年1回（12月頃）
	脱炭素	年1回

※「更新なし」はアーカイブや二次元コードでの案内になる展示物

貸出機材リスト

名称	内容物	貸出 可能数	備考
放射線測定 キット	①簡易 γ 線測定器 (HORIBA PA-1100 Radi) 1台 ②簡易 α 線測定器 (アルファちゃん) 1台 ③簡易 β 線測定器 (ベータちゃん) 1台 ④測定試料4種 (温泉場の土・モナズ石・ウラン鉱石・湯 の花) 1式 ⑤放射能鉱物標本5種 (燐灰ウラン石・モナズ石・サ マルスキー石・タンタル石・ゼノタイム) 1式 ⑥原子燃料鉱物標本5種 (燐灰ウラン石・ウラノフェ ン・燐銅ウラン石・閃ウラン石・ツヤムン石) 1式 ⑦遮へい板セット 1式	5式	左記のうち必 要なものを利用 者が選定
簡易霧箱実 験キット	・簡易霧箱 (発泡スチロール台、シャーレ、スポンジ テープ、黒画用紙、スポイト、ワークシート) 1式	15式	ドライアイ ス、無水エタ ノール及び LED ライトは 利用者が別途 準備
霧箱実験キ ット	・Rad 社卓上霧箱本体 1台 ・マントルガス用注射針 (α 線源) 1本 ・溶接棒 (α 線源) 1本	2式	ドライアイス (240×240× 50mm) 及び無 水エタノール は利用者が別 途準備
マイクロス コープセッ ト	・マイクロスコープ本体 1台 ・タブレット 1台	3式	
GM サーベイ メータ測定 セット	・GM サーベイメータ (TGS-146B (日立製作所(株))) 1台 ・測定試料5種 (食塩、減塩塩、肥料、湯の花、花崗 岩) 1式	5式	
NaI サーベイ メータ	・NaI (Tl) サーベイメータ (TCS-172B (日立製作所(株))) 1台	6式	
放射能簡易 測定キット	・簡易 γ 線測定器 (HORIBA PA-1100 Radi) 1台 ・放射能簡易測定キット (PA-K (試料測定用ボウル、 スタンド、蓋) 1式	1式	

名称	内容物	貸出 可能数	備考
燃料電池実験セット	<ul style="list-style-type: none"> ・ライト及び設置台 1 式 ・太陽光パネル (ケニス (株) 大きさ : 約 135×125×160 mm) 1 台 ・電気分解装置 1 台 ・燃料電池セル 1 台 ・モーター風車 1 台 	2 式	電気分解に用いる精製水は利用者が別途準備
風力発電実験セット	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキュレーター (送風機) 及び設置台 1 台 ・風力発電モデル (ケニス (株)) 1 台 ・電圧センサ (コンピュータ計測用センサ ((株) 島津理化)) 1 台 ・SparkLinkAir (センサ接続用インターフェイス ((株) 島津理化)) 1 台 	2 式	Spark 対応ソフトウェア及び端末は利用者が別途準備
熱発電実験セット	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽焦熱炉 ((株) ナリカ) 1 台 ・熱発電実験機 (小型半導体発電機 ((株) ナリカ)) 1 台 ・モーター風車 1 台 ・鍋 1 台 	3 式	焦熱炉と鍋でソーラークッカーとしても利用可能
光合成による CO ₂ 吸収実験キット	<ul style="list-style-type: none"> ・植物等観察用チャンバー ((株) 島津理化) 1 台 ・O₂ センサ (コンピュータ計測用センサ ((株) 島津理化)) 1 台 ・CO₂ センサ (コンピュータ計測用センサ ((株) 島津理化)) 1 台 ・Spark link Air (センサ接続用インターフェイス ((株) 島津理化)) 1 台 	2 式	観察試料、Spark 対応ソフトウェア及び端末は利用者が別途準備
水力発電実験セット	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換ジェネレーター (小型発電機) 1 台 ・電圧センサ (コンピュータ計測用センサ ((株) 島津理化)) 1 台 ・水保持用シリンダー 1 台 ・Spark link Air (センサ接続用インターフェイス ((株) 島津理化)) 1 台 	2 式	Spark 対応ソフトウェア及び端末は利用者が別途準備

「コミュタンサイエンスアカデミア」仕様書

1 業務概要

放射線に関する基礎知識を習得すること、原子力災害を経験したふくしまの環境や地球規模の環境に関する現状や課題を学ぶこと、科学への探究心を喚起するとともに未来に向けた取組を学ぶこと、併せて習得・理解した情報を県内外に向けて発信する能力を向上させることを目的として、県内の小・中学生を対象とした人材育成講座「コミュタンサイエンスアカデミア」を2コース実施する。

2 基本事項

(1) 名称

コミュタンサイエンスアカデミア Basic コース

コミュタンサイエンスアカデミア Advanced コース

(2) 目的

ア Basic コース

各種プログラムを通じて、放射線に関する基礎知識や地球規模の環境に関する現状・課題を学び、科学への探求心を喚起するとともに、未来に向けた取組を考えることを目的とする。

イ Advanced コース

各種プログラムを通じて、放射線に関する基礎知識を習得するとともに、地球規模の環境に関する現状や課題、未来に向けた取組を学び、ふくしまの状況について外部へ発信する能力を育むことを目的とする。

(3) 開催期間及び回数

令和8年5月から令和9年2月までの10か月間で各コース12回ずつ実施すること。

(4) 会場

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」(以下「交流棟」という。)を基本とするが、実施内容がコミュタンサイエンスアカデミアの目的を効果的に達成できると認められる場合には、交流棟館外での実施も可能とする。

(5) 対象

福島県内の小・中学校に在籍又は福島県内に在住する全ての小・中学生とする。

(6) 定員

Basic コース 30 名程度、Advanced コース 20 名程度とする。

ただし、定員を超えた場合は全開催日のうち8割以上の日数の出席が可能であること及び前年度までに受講した者以外であることを受講優先条件とする。

(7) 講義時間

Basic コース：2時間30分程度とする。

Advanced コース：3時間程度とする。

(8) 講座内容

必須プログラムは以下のとおりとし、開催日時は交流棟の開館日・開館時間、小・中学校の行事、夏季・冬季休業期間等を踏まえて調整し設定すること。

ア Basic コース

- ・ 科学実験等（4回以上）
 - ※ 放射線や環境等に関する簡単な体験メニューを実施すること。
- ・ 放射線や福島の状態に関する学習
- ・ 県内高校との連携講座
- ・ AIなどの最新の科学技術に触れ、科学への探求心を喚起する学習
- ・ 講座各回に名刺交換やミニ実験等のアイスブレイク
- ・ 修了式

イ Advanced コース

- ・ 科学実験等（2回以上）
 - ※ 放射線や環境等に関する体験メニューを実施すること。

- ・ 放射線や福島の状態を学び、福島の未来について考える学習
- ・ 地球温暖化問題やカーボンニュートラルに関する学習
- ・ 高校又は大学との連携講座
- ・ 試行錯誤の実験等を通して、答えを探究する力を養う学習
- ・ 調査研究課題の選択、とりまとめ
- ・ 修了式

(9) 備品等

活動に当たり、発注者から貸与可能な備品は別紙 3 - 2 を参照すること。

3 企画運営業務内容

(1) 講座内容の企画

コミュタンサイエンスアカデミア Basic コース及び Advanced コースの各コースについて、対象学年を選定し、2 (8) を踏まえた年間スケジュール及び実施プログラムを作成すること。

なお、実施プログラムは各コースそれぞれに行うこととするが、受講者の発達レベルを考慮した上で、目的を達成できると認められる場合には、一部のプログラムを同時に実施することも可能とする。

(2) 成果発表会

講座受講者が学習成果を発表する場として成果発表会を開催すること。

なお、成果発表会については、アーカイブとして特設ウェブサイト等に掲載するため、動画で記録すること。

(3) 講師の依頼及び調整

年間を通して講座を指導する講師を選定し、依頼及び調整を行うこと。

なお、講師との打合せは発注者同席のもと行うこと。

(4) 広報宣伝

ア 受講者募集に関する広報

福島県内の小・中学校に在籍又は福島県内に在住する全ての小・中学生のうち、コミュタンサイエンスアカデミア Basic コース及び Advanced コースの各コースで設定する対象学年に該当する小・中学生すべてに、紙媒体チラシを配付すること。

また、特設ウェブサイトを開設し、特設ウェブサイトや各種 SNS 等により受講者募集を周知するとともに、申込フォームを作成し、応募受付を行うこと。

イ 成果発表会の周知

成果発表会の開催について広く周知し、多くの聴講者の参加を求めること。

ウ 活動内容の発信

コミュタンサイエンスアカデミアの取組を広く一般に周知するため、活動内容を発信すること。

(5) 実施準備

講座の実施に向け、会場確保、会場設営、講義資料作成、保険加入、備品調達等を行うこと。

(6) 講座当日の進行管理及び記録

講座の円滑な進行及び受講生の学習支援のため、必要に応じて司会やファシリテート等を実施すること。

また、講座の様子について動画及び写真で記録すること。

(7) アンケートの作成及び集計

講座ごとにアンケートを実施し、集計した結果を発注者に報告すること。また、成果発表会においては聴講者向けのアンケートも実施し、集計した結果を発注者に報告すること。

なお、アンケートは受講者の成長や意識変化、コミュタンサイエンスアカデミアの課題や成果等が分かる調査項目とすること。

(8) 講座外におけるフォローアップ

講座を休講した受講者、進捗が遅れている受講者がいる場合は、講座外におけるフォローアップを行うこと。

(9) 参加者特典の準備・調達

受講者の参加意欲・学習意欲を向上させるような記念品等を準備・調達すること。

(10) OB・OG の活用

前年度までの Advanced コースを受講し、修了した OB・OG を対象に「コミュタンサイエンスアカデミアアドバイザー」を募集した上で、コミュタンサイエンスアカデミア Basic コース及び Advanced コースの各コースの目的達成のため効果的に活用すること。

なお、コミュタンサイエンスアカデミアアドバイザーが、受講者に対して目的達成に資する助言等ができるよう丁寧な説明やフォローを実施すること。

貸与可能な備品リスト

No.	品目	品名	規格、製造番号等	使用可	備考
1	実験機器	放射線計数装置特性実験キット (PASPORT)	SPARK 101-312	8	
2		PASPORT用タブレット	SPARK Element PS-3100	8	
3		PASPORT用インターフェイス	SPARK Link Air	8	
4		発光・吸光スペクトル測定実験 (PASPORT)	SPARK 101-308	8	
5		生物と環境・生態系実験 (PASPORT)	SPARK 101-301	8	
6		植物等観察用チャンバー	(株)島津理化 生態系実験キット ME-6668	8	
7		O2センサー (コンピュータ計測用センサ)	(株)島津理化 PS-2126A	9	
8		CO2センサー (コンピュータ計測用センサ)	(株)島津理化 PS-2110	9	
9		電圧センサ (コンピュータ計測用センサ)	(株)島津理化 PS2115	3	
10		水力発電モデル	(株)島津理化 ET-8772	7	
11		送風機	ケニス(株) 送風機 (整風板付)	14	
12		電圧計・電流計	日置電機(株) デジタルマルチメータ DT4281	13	
13		燃料電池スタンダードキット	(株)ナリカ 燃料電池スタンダードキット (燃料電池システムミニ)	10	
14		太陽集熱炉	(株)ナリカ 太陽集熱炉-熱発電実験器	5	
15		アクアリウムセット (水槽セット)	(株)ナリカ G40-3951	3	
16		燃料電池セル (ミニ)	(株)ナリカ B10-2053-01	5	
17		電気分解装置 (ミニ)	(株)ナリカ F35-1323	19	
18		双眼顕微鏡	ケニス(株) E5	1	
19		単眼顕微鏡	ケニス(株) Swift-HDMI	1	

20	実験機器	マイクロスコープ	スリーアールソリューション(株) WM401WIFI	15	
22		タブレット	NEC LAVIE Tab PC-TE508BAW	10	
24		風力・太陽光発電セット	ケニス(株) 風力・太陽光発電実験セット	4	
25		疑似太陽光ライト	ケニス(株) 三脚付強力ランプ	15	
26		ソーラーカーセット	ケニス(株) ソーラーカーキット（光電池自動車）	30	
27		再生エネルギー実験セット	ケニス(株) 再生エネルギー実験セット FC-27	15	セットに含まれる消耗品については受注者手配とする
28		リサイクル体験学習教材	ケニス(株) リサイクル体験学習教材 NEP-D01	15	セットに含まれる消耗品については受注者手配とする
29		紙すきセット	ケニス(株) ケナフ紙すきセット KF-SE	15	セットに含まれる消耗品については受注者手配とする
30		放射能鉍物標本	(株)島津理化 放射能鉍物標本 5種 426-853	15	
31		原子燃料鉍物標本	(株)島津理化 原子燃料鉍物標本 5種 426-861	23	
33		実験スタンド	(株)島津理化 コンパクトスタンド CS-F	15	
34		遮へいセット（放射線吸収体）	(株)島津理化 SN-8111A	23	
35		放射線の特性実験セット	ケニス(株) No. 121-545DX-SET	7	
36	映写用具	書画カメラ	(株)エルモ P30HD	4	
37		可搬性プロジェクター	SONY VPL-EW295	2	
38		ディスプレイ	55型 TOSHIBA TD-E552	1	
39		教育用X線装置	(株)島津理化	2	
40	霧箱	卓上型霧箱	(有)ラド B-112 線源（マントル、溶接棒）	8	
43		霧箱ケース	53cm×48cm（No. 45卓上型霧箱用）	2	
47	線量計	N a I シンチレーション式サーベイメーター	日立アロカメディカル(株)TCS-172B	14	
48		GM管式サーベイメーター	日立アロカメディカル(株)TGS-146B	30	
49		簡易β線測定器 ベータちゃん	千代田テクノ(株)	15	
50		簡易α線測定器 アルファちゃん	千代田テクノ(株)	7	
51		環境放射線モニター	HORIBA PA-1100 Radi	47	
52		放射線測定簡易キット	HORIBA PA-K	37	
53		高機能積算線量計	DOSE-e nano	1	

「一般向け公開講座」仕様書

1 業務概要

放射線に関する基礎知識の習得、原子力災害を経験したふくしまの環境の現状や課題に加え、地球温暖化問題やカーボンニュートラルなど環境を巡る世界的動向についての理解を促進することを目的として県内の幅広い年齢を対象とした公開講座を実施する。

2 基本事項

- (1) 開催期間及び回数
令和 8 年 6 月から令和 9 年 2 月までの間に 3 回開催すること。
- (2) 会場
福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」ホール
- (3) 対象
主に福島県内に通勤・通学・在住する高校生以上を想定
- (4) 定員
170 名程度とする。
- (5) 講座時間
90 分程度とする。
- (6) 講座内容
下記テーマ例に沿った著名な専門家を招聘して実施すること。
なお、開催日時は交流棟の開館日・開館時間、学校等の夏季・冬季休業期間等を踏まえて調整し設定すること。
(テーマ例)
 - ・ ふくしまの環境回復のあゆみ（放射線学習を含む）に関すること
 - ・ 気候変動やカーボンニュートラル、再生可能エネルギーに関すること
 - ・ 福島県のごみ排出量問題などを踏まえたごみ問題に関すること
 - ・ 生物多様性、自然環境に関すること

3 企画運営業務内容

- (1) 講座内容の企画
年間スケジュール及び実施プログラムを作成すること。
- (2) 広報宣伝
講座の開催について広く一般に周知し、参加を求めること。
Web サイトや SNS による周知の他、県内の全高校、全大学、専門学校、公共施設にチラシを配布すること。
- (3) 講座参加者の参加申込受付管理
各回の講座参加者の参加申込受付を行い、受付名簿管理、定員を超えた場合の対応、キャンセル者発生時の繰り上げ参加受付対応、参加申込者との事務連絡等を行うこと。
- (4) 講師の依頼及び調整
招聘する専門家を選定し、依頼及び調整を行うこと。
- (5) 実施準備
講座の実施に向け、会場確保、会場設営等を行うこと。
- (6) 講座等当日の進行管理及び記録
講座の円滑な進行及び聴講者の学びを深めるため、必要に応じて司会やファシリテーター等を実施すること。また、講座の様子について動画及び写真で記録すること。
- (7) アンケートの作成及び集計
講座ごとにアンケートを実施し、集計した結果を発注者に報告すること。
- (8) 事後広報

交流棟の周知拡大に向け、イベントレポートを作成し、写真と合わせて交流棟ウェブサイトに掲載するとともに、各種 SNS を用いて発信すること。

なお、招聘する専門家のメディア露出の規則に反しない範囲での対応とする。

「理科自由研究発表会 at コミュタン福島」仕様書

1 業務概要

本発表会は、県内の小学校児童を対象とし、夏休みの課題の一つである理科自由研究について、その成果に関する発表会を開催することにより、研究成果を広く発信するとともに、児童の科学への探究心の喚起及びプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的として開催する。

2 発表会概要

(1) 開催期間及び日数

11月下旬もしくは12月上旬頃の連続する2日間（土曜日及び日曜日）に開催すること。

なお、開催日等の調整にあたり、事前に発注者と協議すること。

(2) 会場

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」（以下「交流棟」という。）を使用する。

なお、口頭発表についてはホールを、ポスターセッションについては会議室及び学習室Aを使用することを基本とするが、発表会の目的を効果的に達成できると認められる場合には、この限りではない。

(3) 参加者

原則「福島県小学校理科作品審査会」に出品した児童（84名程度）のうち発表会への参加を希望した児童60名程度を想定し、参加者について、発注者と協議の上、決定する。

また、発注者が選定する教育機関等からの来賓（3名程度）も想定する。

(4) 発表方法

参加者全員による口頭発表及びポスターセッションを行う。

なお、発注者と協議の上、参加者数に応じて発表方法を変更することができる。

3 企画運営業務内容

受注者は、発表会を円滑かつ効果的に開催するため、以下の業務を実施する。

なお、業務の実施に当たっては、発注者と十分に協議を行うとともに、県内の教育機関等と密に連携をとること。

(1) 発表会前

ア 関係機関との調整

関係機関とスケジュールの調整を行うこと。また、福島県小学校教育研究会（以下「小教研」という。）と来賓及び発表作品の搬入等の調整を行うこと。

イ 参加者募集ポスターの作成・印刷・配付

参加者募集ポスター（B2サイズ、片面カラー）を作成し、県内全小学校及び義務教育学校へ各2枚ずつ配付すること。

なお、配付時期は7月初旬とし、配付方法については発注者の指示に従うこと。

ウ 参加応募票の作成・印刷・配付

参加応募票を作成・印刷し、2(3)参加者の募集対象となる児童に配付すること。

なお、配付時期・配付方法については、発注者の指示に従うこと。

エ 参加希望者のとりまとめ

3(1)ウにて配付した参加応募票を基に参加希望者をとりまとめること。

なお、応募があった際に2(3)にて定めた募集対象と合致しているか確認すること。

オ 記念品の準備・調達

参加者全員に贈呈する記念品を準備・調達すること。

なお、記念品については、発注者と協議の上、発表会への参加を強く促すものを贈呈すること。

カ 発表支援

発表に関する手引きを作成するとともに、口頭発表原稿の作成やポスターセッションで使用するポスターの作成に関する支援プログラムを実施すること。交流棟で4回以上実施するほか、参加者の居住地域を考慮し、会津若松市及びいわき市に会場を設け、各1回実施すること。

なお、支援に当たっては、適切な指導が可能な人員を配置するとともに、必要となる備品及び消耗品について手配すること。

キ 広報活動

発表会の開催に当たり、開催告知チラシ（A4 サイズ、片面カラー）及びポスター（B2 サイズ、片面カラー）を作成し、県内小学校、義務教育学校及び公共施設へ配付すること。また、特設ウェブサイト、各種 SNS 等により、多くの集客が期待できる広報活動を展開すること。

ク アンケートの作成・印刷

アンケートを作成・印刷すること。

ケ 配付冊子の作成準備

当日プログラム（発表者の資料等）を作成、配付すること。

コ 作品の受け取り及び保管

参加児童の作品搬入時に、作品の状態を確認し、標本等は搬入時の状態を必ず記録に残した上で受け取り及び適切に保管すること。

(2) 発表会当日

ア 会場設営・管理

会場の設営を行うとともに、発表会の円滑な進行のため、音響や照明等の管理を行うこと。

イ 進行管理

発表会を円滑に進行するため、進行管理を行うこと。

ウ 記録

発表会について写真及び動画での記録を行うこと。特に、発表ポスターについては必ず電子データでの記録を残すこと。

エ アンケートの実施

3 (1) クのアンケートを実施すること。

オ 福島県小学校理科作品展の開催

福島県小学校教育研究会理科部会が主催する「福島県小学校理科作品展」を交流棟で開催するためのスペースを確保すること。

(3) 理科自由研究ポスター展示会

3 (1) カで作成したポスターの展示会を以下のとおり実施すること。

ア 展示期間の運営・管理

会場の設営を行うとともに、展示期間中（小学校の冬季休業期間を含む期間とする）の管理を行うこと。

イ 作品の返却

展示終了後は、参加者へ直接もしくは小教研を介して作品を返却すること。

なお、返却に係る費用については、受注者の負担とする。

ウ その他

ア・イに掲げる業務の他、1 業務概要に記載した目的を達成するために必要な業務について、発注者と協議の上で実施すること。

(4) 来賓への対応

ア 発表会当日に参加した来賓及び講評者へ昼食を提供すること。

- イ 来賓への報償費・旅費を支給すること（県の旅費規定による）。
- ※ ただし、来賓が上記を辞退した場合はこの限りではない。

令和7年度アウトリーチ活動等実績一覧

【アウトリーチ活動等】

番号	実施月日	名称	場所	対応 人数
1	R7. 5. 6	GW サイエンスフェスティバル	郡山市（福島県）	1名
2	R7. 6. 8-9	ばんえつ発見の旅サポート共同イベント	阿賀町（新潟県）	1名
3	R7. 6. 28-29	ふくしまフェスタ in りんくう プレミアムアウトレット	泉佐野市（大阪府）	1名
4	R7. 7. 6	出張コミュタンatこむこむ館	福島市（福島県）	1名
5	R7. 7. 13	エコチル★ふくしま環境セミナーin コミュタン福島	三春町（福島県）	3名
6	R7. 7. 21	夏のサイエンスフェスティバル	郡山市（福島県）	2名
7	R7. 7. 26	磐越東線利活用促進事業	三春町（福島県）	1名
8	R7. 8. 3	あつまれっ！ハイテクプラザ2025	郡山市（福島県）	2名
9	R7. 9. 6	第18回農業総合センターまつり	郡山市（福島県）	2名
10	R7. 10. 4	相馬市子ども科学フェスティバル	相馬市（福島県）	2名
11	R7. 10. 4-5	ふくしまフェスタ in 恵比寿ガーデンプレイス	渋谷区（東京都）	1名
12	R7. 11. 3	出張コミュタンatこむこむ館	福島市（福島県）	2名
13	R7. 11. 8-9	ふくしまフェスタ in ラゾーナ 川崎プラザ	川崎市（神奈川県）	1名
14	R7. 11. 29	川俣サイエンスショー	川俣町（福島県）	2名
15	R7. 12. 13	spff サイエンス屋台村 at コ ミュタン福島	三春町（福島県）	2名

※ 対応人数は、令和7年度における福島県環境創造センター交流棟運営業務受託者の参加人数を指す。